

授業科目 臨床免疫学実習 II

【担当教員名】 大山 富三		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
<p>1. 生体成分の免疫学的測定法や疾患に対する免疫学的検査方法、並びに検査所見から臨床的意義を理解し、疾患を類推できる技術を習得する。</p> <p>2. 生死にかかわる輸血検査に必要な基礎的知識を習得し、手技の迅速性・正確性の必要性を理解する。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<p>1. 各種検査の原理及び臨床的意義を説明できる。</p> <p>2. 各種検査の判定が正しくできる。</p> <p>3. 判定結果から疾患を分類・類推できる。</p> <p>4. 生体成分の免疫学的測定法を説明できる。</p> <p>5. 輸血に関する基本的な知識を習得している。</p> <p>6. 輸血検査の検査手順を習得し結果を正しく判定できる。</p> <p>7. 検査データを迅速かつ正確に報告することができる。</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-8	非特異的検査 寒冷凝集反応、CRP 測定			1-4	講義・実習
9-16	免疫機能検査 免疫電気泳動法、オクタクロニー法、GH50 測定			1-4	講義・実習
17-23	輸血検査 血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験、HLA タイピング			5-7	講義・実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 免疫検査学第2版	窪田 哲明 他	医歯薬出版	2010・5,600円＋税
参考書					
その他の資料		プリントなど配布の資料			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
レポート(20%)、定期試験(80%)。 なお、欠席の場合にはレポート提出を認めない。			上記「授業計画」の内容が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 実習に相応しい容姿・態度で臨むことと、実習はやり直しができないので欠席しないこと。		